

## 3. 目標

長期にわたるミッションであるため、最終的な研究開発目標を設定し、その内、計画期間中（第1期）における研究開発目標を示す。

- ・ ミッション目的の達成目標（配布資料は新旧2枚の表でできていたが、見え消しで一枚の表に作り直した。）

ミッション目的	最終的な目標	GCOM 第1期の目標
1.地球規模での気候変動・水循環メカニズムを解明する上で有効な物理量（海面水温、土壌水分等）の観測を全球規模で長期間（*）継続的に行えるシステムを構築し、利用実証すること。	継続観測システムの構築と13年の長期データセットの確立作成により、衛星による地球環境モニタリングシステムが高信頼の、気候変動・水循環メカニズムを解明する上で不可欠な社会インフラシステムであることの実証すること。	①多くの気候変動重要要素(ECVs)を含む標準プロダクトの生成とし、提供すること
2.衛星により観測された物理量データを、地上観測データ、他の衛星観測システムのデータおよびモデルデータなどと統合的に解析できるような形態として加工し、利用者に提供すること。	地球環境に重要なパラメータを広く取得し、統合的にデータ利用出来る衛星による観測データを利用者が必要とする形態で提供できるシステムを国際分担の下で構築するし、国際的な貢献を行うこと。	②GCOM 10年実施計画に適合した衛星システム、データ提供標準プロダクトを他の観測システムのデータと統合的に利用できるように加工し、データ統合・解析システム等へ提供できるシステムを構築すること
3.気候数値モデルを有するユーザ機関と協調した体制を確立することにより、国家の政策決定にかかわる、気候変動メカニズムに関するプロセス研究や気候数値モデルの改善による長期気候変動の予測精度の向上に貢献すること。	データ統合・解析システム他との統合的な体制の下で、数値モデル研究機関が、IPCC三次レポート時点の長期気候変動モデル精度(2度弱:100年後全球平均気温のモデル間差分)を半分(1度以下)程度に低減すること精度向上すること等により、気候変動に関する我が国としての政策立案に貢献すること。気候変動を抑制する政策立案を支えるツールとされることの実証	③データ統合・解析システム他への衛星データセット入力とデータ同化による短期の予測精度向上の実証を通じてGCOMデータの良好な品質を確認し、長期気候変動の予測精度向上に貢献できることを示すこと。また、気候変動に敏感な北極域雪水域、エルニーニョ/ラニーニャ等の気候変動に敏感なパラメータの観測による観測有効性が把握できることを示すことで、GCOMの全球規模観測データが気候数値モデルの検証に有効であることを実証すること。
4.気象予報、漁業情報提供、海路情報管理などを行う実利用機関に対するデータ配信を行い、災害をもたらす激しい気象の予測等の現業分野への貢献を行うこと。	気象庁、海上保安庁、漁業情報センター、その他現業機関への長期継続的なデータ配信により、台風などを含む気象予報精度の向上、航路安全の確保、漁業管理向上を実現し、豊かで安全安心な社会へ貢献すること。	④気象庁、海上保安庁、漁業情報センターへの継続的な設定された時間内にデータ配信とし、データの有効性を利用実証すること。
5.将来的に有望な新たなデータ解析手法を研究・実証すること。現在の解析技術では実現困難なプロダクトではあるが、気候変動・水循環メカニズムの解明に有効なものを、新たに生成すること。	長期観測期間中の科学の進歩を積極的に取り入れ、陳腐化しない持続的システムを実現する他の観測システムのデータとの融合も考慮し、気候変動・水循環メカニズムの解明に有効な新規プロジェクトを生成することにより、GCOMのプロダクトを拡充すること。	⑤研究利用機関と協力して、新規プロダクトを生成すること。

ECVs : Essential climate variables